

## はじめに

イエス・キリストは、この世におられた時、何をなされたのか。その一番大きな使命は何であったのかを学びましょう。

### I. イエス・キリストは、罪人の救うためにおいでになった。

イエス・キリストが出会った人たちの次の場面から、その目的を探ってみましょう。

#### 1. 収税人マタイを救う (マタイ 9:9)

「医者が必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです」

#### 2. 町の罪ある女を救う (ルカ 7:36-)

「この方がもし預言者なら、自分にさわっている女がだれで、どんな女であるか、知っておられるはずだ。その女は罪深い者なのだから」「この女の多くの罪は赦されています。というのは、彼女はよけい愛したからです」「あなたの罪は赦されています」

#### 3. 収税人ザアカイ (ルカ 19:10)

「あの方は、罪人のところに行って客となられた」イエスは言われた「きょう、救いがこの家に来ました。・・・人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです」

#### 4. 姦淫の現場で捕らえられた女 (ヨハネ 8:1-)

「先生、この女は、姦淫の現場でつかまえられたのです。モーセは、律法の中で、こういう女を石打ちにするように命じています。あなたは何と言われますか」「あなたがたの中で罪のない者が、最初に彼女に石を投げなさい」「婦人よ。あなたを罪に定める者はなかったのですか」「わたしもあなたを罪に定めません。行きなさい。今からは決して罪を犯してはなりません」

## I の結論

イエスは、罪人を救うために来られました。自分を正しいとしている人間に、イエスは必要ではありません。人々は、罪を犯した人を軽蔑し、嘲笑し、責めます。しかし、イエスは彼を救うのです。

イエス・キリストにとって、罪は人間の根本問題でした。「忌まわしいものだ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは杯や皿の外側はきよめるが、その中は強奪と放縦でいっぱいです。目の見えぬパリサイ人たち。まず、杯の内側をきよめなさい。そうすれば、外側もきよくなります」(マタイ12:25-26)

## II. 罪人とは、だれか。

### 1. 人は、罪を自覚しない。

例話：真樹子の話「お兄ちゃん。いけないんだよ。お祈りのとき、目をあけているんだから」

## 2. ある人は、罪を重視しない。

例話：ルターのことは「だれでもするから。たった一度だから。小さいことだから」

白い殺虫剤を牛乳瓶に入れて持って来た町内会の人。

## 3. 主イエスは、罪を重視された。

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。罪を行っている人はみな、罪の奴隷です」(ヨハ 8:34)

「人から出るもの、これが、人を汚すのです。内側から、すなわち、人の心から出て来るものは、悪い考え、不品行、盗み、殺人、姦淫、どん欲、よこしま、欺き、好色、ねたみ、高ぶり、愚かさであり、これらの悪はみな、内側から出て、人を汚すのです」

(マル 7:20-23)

## 4. すべての人は罪人です。

「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができない」(ローマ 3:23)

### (1) 心は汚れている(エレミヤ 19:9)

「人の心は何よりも陰険で、それは直らない。だれがそれを知ることができよう」

### (2) 意志が弱くなっている(ローマ 7:18)

「私は、私のうち、すなわち私の肉のうちに善が住んでいないのを知っています。私には善をしたいという願いがいつもあるのに、それを実行することがないからです」

例話：ある盲学生の願い

### (3) 行いに出る罪

### (4) 内にひそむ罪

### (5) 人に対して犯す罪

### (6) 自分に対して犯す罪

### (7) 神に対して犯す罪

例話：健康・財・時・知性・才能などの誤用

すべての罪は、神に対して犯した罪である。

「私はあなたに、ただあなたに、罪を犯し、あなたの御目に悪であることを行いました」(詩篇 51:4)

## Ⅲ. 罪の結果

### 1. 心に平安がない(イザヤ 48:22)

「悪者どもには平安がない」と主は仰せられる（イザヤ57:21）。

例話：ルソーの告白「主人の娘ポンタル嬢のバラ色と銀色のリボンを盗み、それを料理女の若いマリオンのせいにする」

## 2. 蒔いたものは刈り取る（ガラヤ 6:7）

「思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります」

## 3. 神の裁き

「罪から来る報酬は死です」（ロマ 6:23）

「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」（ブル 9:27）

「しかし、臆病な者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、魔術を行う者、偶像を拜む者、すべて偽りを言う者どもの受ける分は、火と硫黄との燃える池の中にある。これが第二の死である」（黙示録 21:8）

## IV. 神の救いのご計画

### 1. 神が求めておいでになるもの

「あなたは心のうちに真実を喜ばれます」（詩篇 51:6）

「心のきよい者は幸いです。その人は神を見るからです」（マタイ 5:8）

「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません」（ヨハネ 3:3）

例話：「おお、恐るべき瞬間にもなお、神の御前に立つことを喜び得る者は、いかに純潔な心の人でなければならぬであろう」（ジョン・ウエスレー）

### 2. 私たちが真に望んでいるもの

「鹿が谷川の流れを慕いあえぐように、神よ。私のたましいはあなたを慕いあえぎます。私のたましいは、神を、生ける神を求めて、渴いています」（詩篇 42:1-2）

### 3. すでに完成されている罪人の救い

イエス・キリストの十字架

「私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます」（ロマ 5:8）

「キリストは、今の悪の世界から私たちを救い出そうとして、私たちの罪のためにご自身をお捨てになりました。私たちの神であり父である方のみこころによったのです」（ガラヤ 1:4）

「そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです」

（Iペテロ 2:24）

### 4. この救いにあずかった人々

## V. 神の招きのことば

「主を求めよ。お会いできる間に。近くにおられるうちに、呼び求めよ」（ザヤ 55:6)

「ああ、渴いている者はみな、水を求めて出て来い。金のない者も」（ザヤ 55:1)

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」（マタイ 11:28)

「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる」（ヨハネ 7:37-38)

「わたしは、恵みの時に、あなたに答え、救いの日にあなたを助けた。確かに、今は恵みの時、今は救いの日です」（IIコリント 6:2)

「見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは、彼のところにはいって、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする」（黙示録 3:20)

### 勧め

イエス様がなぜ人となって来られたのかをもう一度、しっかり心に刻みましょう。キリストは、私たちのために十字架にかかり、復活してくださいました。何のためですか。私たちを救うためです。このことを、今日、あなたは知りました。神様は、今、あなたを招いておいでになります。イエス様のところにお出でなさい。